組合だより
JA おからく
2026 9 vol.291
令和8年9月14日発行
発　行：おかやま酪農業協同組合
責任者：小椋　孝史
津山市川崎94-1
☎(0868)26-1101

牛乳でスマイル プロジェクト

令和7年度「牛乳大好き！絵画コンクール」受賞作品



優秀賞　教育長賞　岡山市立吉備小学校2年　武川　千笑
（絵の説明）
牛乳がとっても大好きです。

現況調査まとまる

乳牛総頭数は13，381頭

令和8年8月1日現在での現況調査を行いましたので、その結果をご報告いたします。組合員の皆様にはご協力いただき、ありがとうございました。

☆戸数・頭数

乳牛の飼養戸数及び頭数は（表1）のとおり135戸、13，381頭と前年8月に比べ戸数では7戸、頭数では206頭の減少となりました。品種別ではホルスタイン種12，097頭（84頭減）、ジャージー種他1，284頭（122頭減）でした。

飼養戸数の内訳は、（表2）のとおり関係機関を除く搾乳農家は128戸、育成農家2戸、関係機関5戸です。また、肉用牛飼養農家は35戸でした。

経産牛頭数は9，903頭（187頭減）、育成牛頭数は3，478頭（19頭減）。搾乳農家1戸当たりの平均飼養頭数は101・4頭（3・6頭増）、平均経産牛頭数は75・0頭（2・4頭増）。育成牛率は26・0％となりました。

☆各地区の飼養状況

乳牛飼養総頭数を地区ごとに見ると（表1）西大寺地区が109頭減、備南地区が90頭増、びほく地区が1頭増、勝英地区が33頭減、津山地区が69頭減、真庭地区が86頭減となりました。全体では206頭の減少となっております。

また、育成牛率で全体の平均より高い地区は津山、西大寺、真庭、びほくの順となっています。

☆飼養頭数別の酪農家戸数

（表3）の飼養頭数別酪農家戸数をみますと30頭未満の飼養農家は28戸（20・9％）、30頭から49頭の飼養農家は37戸（27・6％）、50頭から79頭の飼養農家は31戸（23・1％）、80頭から149頭の飼養農家は22戸（16・4％）、150頭から499頭の飼養農家は13戸（9・7％）、500頭以上の飼養農家3戸（2・2％）となっています。

☆哺育素牛・肥育・和牛繁殖関係の頭数

哺育素牛・肥育・和牛繁殖牛の総頭数は9，334頭です。うち哺育農家、肥育農家、和牛繁殖農家の飼養するホルスタイン・F1・和牛等の頭数は7，865頭となっています。

また、酪農家の飼養する和牛・F1等の哺育素牛・肥育・和牛繁殖牛の総頭数は1，469頭です。

☆飼料作付面積

自給飼料の作付面積については、全体で1，545ha、牧草、とうもろこし、その他の順でした。

（生産支援課）

乳牛頭数等取りまとめ表（表1）

令和8年8月1日現在

	西大寺	備南	びほく	勝英	津山	真庭	おからく合計
乳牛飼養戸数（対前年増減）	16（−4）	21（0）	15（0）	22（−2）	25（−2）	36（1）	135（−7）
乳牛総頭数（対前年増減）	799（−109）	6,067（90）	1,001（1）	1,741（−33）	1,475（−69）	2,298（−86）	13,381（−206）
経産牛頭数（対前年増減）	543（−57）	4,800（147）	683（−21）	1,333（−81）	982（−62）	1,562（−113）	9,903（−187）
経産牛頭数の占める割合（％）	5.5%	48.5%	6.9%	13.5%	9.9%	15.8%	
経産牛率（％）	68.0%	79.1%	68.2%	76.6%	66.6%	68.0%	74.0%
育成牛率（％）	32.0%	20.9%	31.8%	23.4%	33.4%	32.0%	26.0%
ホルスタイン種	798	6,061	1,000	1,739	1,475	1,024	12,097
ジャージー種他	1	6	1	2	0	1,274	1,284

おからく現況調査総括表（表２）

令和８年８月１日現在

		西大寺	備　南	びほく	勝　英	津　山	真　庭	おからく合計
酪農家戸数	搾乳農家	14	21	15	22	24	32	128
	育成農家	1	0	0	0	0	1	2
	合　計	15	21	15	22	24	33	130
関係機関戸数	搾乳農家	1	0	0	0	1	2	4
	育成農家	0	0	0	0	0	1	1
	合　計	1	0	0	0	1	3	5
酪農場総数（乳牛飼養戸数）	搾乳農家	15	21	15	22	25	34	132
	育成農家	1	0	0	0	0	2	3
	合　計	16	21	15	22	25	36	135
肉用牛飼養農家戸数		4	6	3	6	13	3	35
総農家戸数（関係機関を含む）		20	27	18	28	38	39	170
ホルスタイン頭数	６ヶ月未満	44	237	91	58	85	78	593
	６～24ヶ月	223	1,000	178	350	408	223	2,382
	24ヶ月以上	531	4,824	731	1,331	982	723	9,122
	合　計	798	6,061	1,000	1,739	1,475	1,024	12,097
	うち経産牛頭数	542	4,795	683	1,331	982	694	9,027
ジャージー他頭数	６ヶ月未満	0	0	1	0	0	100	101
	６～24ヶ月	0	1	0	0	0	296	297
	24ヶ月以上	1	5	0	2	0	878	886
	合　計	1	6	1	2	0	1,274	1,284
	うち経産牛頭数	1	5	0	2	0	868	876
乳用牛総飼養頭数		799	6,067	1,001	1,741	1,475	2,298	13,381
経産牛頭数		543	4,800	683	1,333	982	1,562	9,903
乳用牛１戸当たり飼養頭数		49.9	288.9	66.7	79.1	59.0	67.6	101.4
乳用牛１戸当たり経産牛頭数		36.2	228.6	45.5	60.6	39.3	45.9	75.0

地区別酪農家戸数（育成農家・関係機関を含む）（表３）

令和８年８月１日現在

	平均年齢	飼養頭数別酪農家戸数													
		1～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～79	80～99	100～149	150～249	250～499	500～999	1000～	計
西大寺	71	0	1	2	3	4	2	1	0	1	1	0	0	0	15
備　南	54	1	1	0	4	0	3	1	1	3	3	1	2	1	21
びほく	60	0	1	7	2	1	1	0	0	1	1	1	0	0	15
小計	62	1	3	9	9	5	6	2	1	5	5	2	2	1	51
勝　英	56	0	1	2	4	5	0	3	0	5	0	2	0	0	22
津　山	56	0	3	2	5	0	4	5	3	2	1	0	0	0	25
真　庭	53	2	3	2	3	6	4	7	2	4	3	0	0	0	36
小計	55	2	7	6	12	11	8	15	5	11	4	2	0	0	83
合　計	58	3	10	15	21	16	14	17	6	16	9	4	2	1	134

中販連 良質生乳出荷者表彰

8月5日、中販連管内5県による統一乳質評価基準において、「令和7年度良質生乳出荷者表彰授与式」がひるぜんジャージーランドで開催され、鳥取、広島、岡山から各部門の受賞者が参加されました。おかく管内では5名の生産者が受賞されました。

年間乳量250ｔ未満の部で最優秀賞を受賞された井原市の早川洋平さんは、「常に牛床を乾燥させた状態を保ち乳房炎菌が蔓延しないよう心掛け、乳頭清拭を丹念に行っている」とコツを教えていただきました。また、250ｔ～500ｔ未満の部では倉敷市の三宅安史さんが2年連続の最優秀賞を獲得され「当たり前のことを当たり前のようにやる。良質乳を出荷することは酪農家の使命だ」と意気込みを述べられました。

ジャージー部門では真庭市の樋口貴明さんが最優秀賞を受賞され「牛を何より大事に考え、他の農家の良いところや技術を積極的に取り入れている。一生懸命やってくれる妻にも感謝したい」と抱負を述べられ、優秀賞を受賞された丸山昭博さんは「自然体の酪農、無理をしない酪農を目指し、早期発見・早期治療を心掛けている。ジャージーという希少な資源をこれからも大事に飼っていきたい」と述べられました。

大変おめでとうございました。また、日ごろの良質生乳生産に向けられた皆さんのたゆまぬ努力に対し、心より敬意を表します。

受賞者一覧については別表をご覧ください。

ホルスタイン部門

年間乳量250ｔ未満の部

井　原　市　早川　洋平 様　最優秀賞　3,870点
（FAT平均4.05％　SNF平均8.92％　体細胞平均15.9万　細菌数平均1.7万）

高　梁　市　森脇　　理 様　優 良 賞　3,190点
（FAT平均4.02％　SNF平均8.81％　体細胞平均21.3万　細菌数平均1.1万）

年間乳量250ｔ～500ｔ未満の部

倉　敷　市　三宅　安史 様　最優秀賞　4,020点
（FAT平均4.15％　SNF平均8.91％　体細胞平均5.8万　細菌数平均0.5万）

ジャージー部門

真　庭　市　樋口　貴明 様　最優秀賞　2,975点
（FAT平均5.07％　SNF平均9.48％　体細胞平均15.1万　細菌数平均1.0万）

真　庭　市　丸山　昭博 様　優 秀 賞　2,890点
（FAT平均5.11％　SNF平均9.37％　体細胞平均11.3万　細菌数平均1.0万）



最優秀賞　三宅安史さん



最優秀賞　早川洋平さん


優良賞　森脇　理さん


優秀賞　丸山昭博さん



最優秀賞　樋口貴明さん

良質生乳出荷者表彰一覧表（令和７年度）

年間乳量250ｔ未満（部門対象者合計８人）

部門	組合名	農家名	得点合計	成分得点	衛生得点	FAT平均	SNF平均	体細胞平均	細菌数平均	乳量年計
1	おかやま酪農業協同組合	早川　洋平	3,870	2,310	1,560	4.05	8.92	15.9	1.7	193,541
	広島県酪農業協同組合	井上　正芳	3,470	2,280	1,190	4.09	8.94	12.4	0.6	117,392
	大山乳業農業協同組合	手嶋　浩	3,420	2,340	1,080	4.84	9.67	10.3	0.9	7,914
	大山乳業農業協同組合	青木　律子	3,400	1,790	1,610	4.24	8.95	4.0	0.8	56,018
	おかやま酪農業協同組合	森脇　理	3,190	2,130	1,060	4.02	8.81	21.3	1.1	158,144
	広島県酪農業協同組合	山根　慎吾	3,190	1,710	1,480	4.21	8.80	9.1	1.3	101,478
	広島県酪農業協同組合	玉浦　転	3,170	2,310	860	4.32	8.85	22.1	1.1	233,442
	大山乳業農業協同組合	前田　隆祥	3,110	2,000	1,110	3.97	8.96	11.7	1.0	147,823

年間乳量250ｔ～500ｔ未満（部門対象者合計６人）

部門	組合名	農家名	得点合計	成分得点	衛生得点	FAT平均	SNF平均	体細胞平均	細菌数平均	乳量年計
2	おかやま酪農業協同組合	三宅　安史	4,020	2,280	1,740	4.15	8.91	5.8	0.5	348,808
	大山乳業農業協同組合	遠藤　京介	3,880	2,310	1,570	4.05	8.96	6.4	1.1	272,443
	大山乳業農業協同組合	山下　正太	3,840	2,280	1,560	4.02	8.82	9.7	0.7	319,912
	大山乳業農業協同組合	谷　幸司	3,810	2,340	1,470	3.97	8.82	12.0	0.7	322,148
	大山乳業農業協同組合	板持　悦夫	3,710	2,340	1,370	4.08	8.91	9.3	0.6	390,937
	大山乳業農業協同組合	池山　晃広	3,690	2,250	1,440	4.09	8.84	11.5	0.4	335,523

年間乳量500ｔ～1,000ｔ未満（部門対象者合計３人）

部門	組合名	農家名	得点合計	成分得点	衛生得点	FAT平均	SNF平均	体細胞平均	細菌数平均	乳量年計
3	広島県酪農業協同組合	㈱溝上牧場	3,990	2,310	1,680	4.12	8.92	9.2	0.6	769,194
	大山乳業農業協同組合	高間　理拓	3,920	2,340	1,580	4.35	9.05	9.5	0.8	512,880
	大山乳業農業協同組合	陰山　光彦	3,780	2,340	1,440	4.13	8.98	10.6	0.8	591,820

年間乳量1,000ｔ以上（部門対象者合計３人）

部門	組合名	農家名	得点合計	成分得点	衛生得点	FAT平均	SNF平均	体細胞平均	細菌数平均	乳量年計
4	大山乳業農業協同組合	福田　寛	3,950	2,190	1,760	3.97	9.01	6.7	0.4	1,407,991
	大山乳業農業協同組合	㈱ナカムラファーム	3,815	2,155	1,660	3.95	8.98	7.9	0.6	1,154,794
	大山乳業農業協同組合	川本　和昭	3,800	2,340	1,460	4.23	9.05	7.9	0.7	1,155,672

ジャージー部門（部門対象者合計２人）

部門	組合名	農家名	得点合計	成分得点	衛生得点	FAT平均	SNF平均	体細胞平均	細菌数平均	乳量年計
5	おかやま酪農業協同組合	樋口　貴明	2,975	1,725	1,250	5.07	9.48	15.1	1.0	219,041
	おかやま酪農業協同組合	丸山昭博Ｊ	2,890	1,840	1,050	5.11	9.37	11.3	1.0	555,790

学校部門（部門対象者合計１人）

部門	組合名	農家名	得点合計	成分得点	衛生得点	FAT平均	SNF平均	体細胞平均	細菌数平均	乳量年計
6	大山乳業農業協同組合	鳥取県立倉吉農業高等学校	4,100	2,340	1,760	4.38	9.11	3.9	0.4	176,142

夏場の乳牛を暑さから守るために

～「熱を入れない」暑熱対策　石灰塗布事例～

全国酪農業協同組合連合会　大阪支所　中四国事務所　澤田　　茜

はじめに

いつも大変お世話になっております。暦の上では秋となりましたが、まだまだ暑さの残る日が続いています。牛たちの暑さ対策に加え、皆様も体調には十分お気をつけください。

前回に続いて、「牛舎へ熱を入れない」という考え方から、今回は牛舎周りへの石灰塗布した事例をご紹介します。

「輻射熱」を防ぐためには？

白い色は、黒や濃い色に比べて太陽光を反射しやすい性質があります。そのため、屋根だけでなく、外壁や牛舎周辺の地面を白くすることで、太陽光を吸収して熱を持つことを抑え、表面温度の上昇を抑える効果が期待できます。

「換気扇や送風機で風を送る」ことに加えて、「牛舎そのものや周囲をできるだけ熱くしない」という視点から暑熱対策を考えてみるのもおすすめです。

作業工程

①ドロマイト石灰20kg袋に、約40ℓの水で撹拌機にて十分に撹拌させる。

②動力噴霧器を使用して、コンクリート・外壁に塗布。

噴霧器のノズルは詰まりやすいので、撹拌しつつ塗布を行う方が効率的です。作業時は、刺激で目や喉を痛める可能性があるので、マスクやゴーグル・手袋を着用してください。





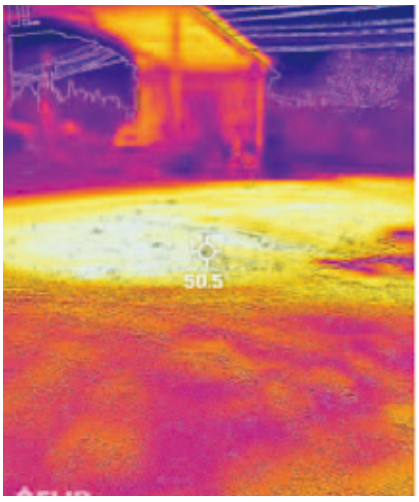


10℃以上の温度差を確認！

実際に、２戸の実施農家で、牛舎周りのコンクリートについて、石灰を塗布した部分と塗布していない部分をサーモカメラで撮影し、表面温度を比較しました。

その結果、石灰を塗布していない部分では50℃を超える表面温度が確認された一方、石灰塗布した部分では30℃台となり、10℃以上の温度差が見られました。

岡山市の農家では、７月28日11時（外気温35℃）に測定し、塗布していない部分が50.5℃、塗布した部分が39.6℃となりました。



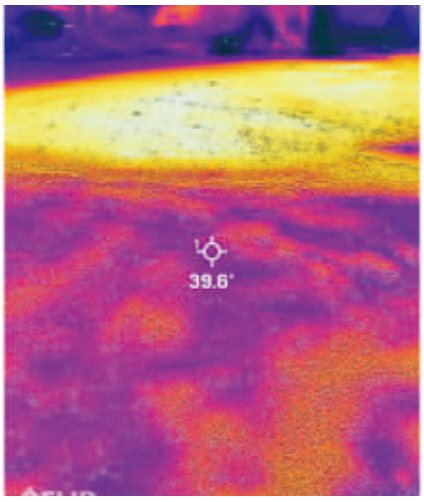




写真１　岡山市（11時）

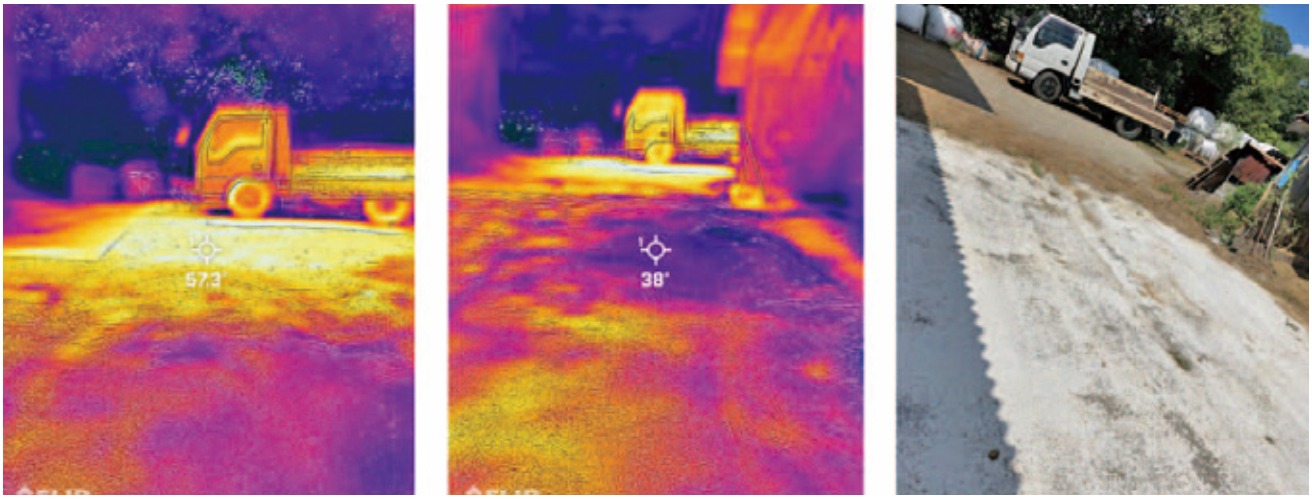


写真２　津山市（15時）

また、津山市の農家では、８月５日15時（外気温38℃）に測定し、塗布していない部分が57.3℃、塗布した部分が38.0℃となりました。

このように、石灰を塗布することで、コンクリート表面の温度上昇を抑えられることが確認できました。

実際に石灰を塗布した農家さんからは、「照り返しが少なくなり、牛舎内に入ってくる風も涼しく感じる」「実際に地面に触れてみても、塗布していないところと比べて熱くなっていなかった」「牛舎内に入ってくる風から、熱気を感じることがなかった」といった声が聞かれました。

サーモカメラによる測定だけでなく、実際に牛舎で作業する農家さん自身も、牛舎周辺の暑さの違いを感じているようです。

最後に

先月に続いて、今回も「熱を入れない」暑熱対策の一つとして、牛舎周りのコンクリートを白くする取り組みをご紹介しました。

今年の暑熱対策としては少し遅い時期になってしまいましたが、暑熱対策は今から始めても遅くありません。今年の暑さを振り返り、来年に向けた対策を考え始めるのも良いかもしれません。

それぞれの牛舎に合わせて、「熱を入れない」など、できるところから暑熱対策を見直していくことが大切です。また、暑熱ストレスの影響は暑さが和らいだ後にも残ります。秋口の牛の状態にも気を配りながら、来年の暑熱対策につなげていきましょう。

「暑熱対策で牛の健康と経営を守ること」を合言葉に、今年の夏もサマーリリーフに取り組みます。ご不明な点がございましたら、お近くの全酪連担当者までお問合せください。今後ともよろしくお願いいたします。



搾乳周辺機器、洗浄機器のゴム製部品交換助成について

近年、食品事故や表示偽装などの問題が社会的な関心を集め、食品に関する情報もSNSやメディアを通じて広く共有されるようになったことで、消費者の食の安全性に対する意識はますます高まっています。こうした中、安心・安全な生乳生産のために、酪農家の皆さんは細菌数や体細胞数の検査、チェックシートの記入など、日々さまざまな取り組みを実践されていることと思います。

高品質な生乳生産の一助として、おからくでは令和６年度まではパイプライン・パーラー・バルククーラー、洗浄および真空機器、コンデンサー等の部品交換、本体購入費用に対し助成を行ってきましたが、昨年度からはパッキン等ゴム製品に限定した部品（一部対象外あり）の交換助成事業を行っています。

ミルカーからバルククーラーまで、搾乳周辺機器のさまざまな部分に使用されているゴム製部品は、年１回以上の交換が理想とされています。ライナーゴムや脈動チューブ（ショートミルクチューブ）は搾乳者が触れる機会が多く、穴あきや劣化がわかりやすいため、定期的に交換されている方も多いと思います。一方、どこに組み込まれているかわからない配管の継ぎ目のパッキンや、受乳装置（レシーバージャーやサニタリートラップ）から伸びているホース類やゴムエルボなどは目に留まりにくいため、交換が疎かになりがちです。しかし、これらのゴム製部品の交換を怠ると、衛生的な生乳生産が困難になります。

搾乳後、ミルクフィルターに黒色斑点が付着していたことはありませんか？これは、搾乳機器に使用しているゴム類が洗剤や殺菌剤の影響で劣化することでゴム片が剥離し、生乳中に混入することで発生します。また、経年劣化で硬質化したゴムはひび割れ、汚れが付着しやすくなり、細菌数の増加につながります。

昨年度、12月にご案内した本事業は、３ケ月で53戸の組合員の皆さんにご活用いただきました。ミルクラインや受乳装置のゴム製部品は交換歴がない農場が多く、劣化が著しいものもしばしば確認されました。特にレシーバージャー上蓋のパッキン、サニタリートラップのゴム製上下蓋はルミテスターの数値が高く、10,000RLU（適正値：500RLU以下）を超えるケースもありました。

搾乳機器の汚れは、通常の洗浄工程だけでは完全に除去することは困難です。特にミルクラインや受乳装置はミルカーのように手軽に分解洗浄できるものではなく、安心・安全な生乳生産のためには消耗部品の定期的な交換が必須となります。交換未実施の方は、生乳への異物混入防止や細菌数適合率向上のために、ぜひ本事業をご活用ください。

（生産支援課）



受乳装置のゴム製部品の一部

採卵予定牛・凍結卵情報について

岡山県農林水産総合センター　畜産研究所

畜産研究所より、採卵予定牛、凍結卵取扱状況についてのお知らせです。

受精卵の使用を希望される場合は、家畜保健衛生所または受精卵移植師の方等を通じてご相談ください。９月以降の受精卵の種別ごとの取り扱いについては、表１の通りです。

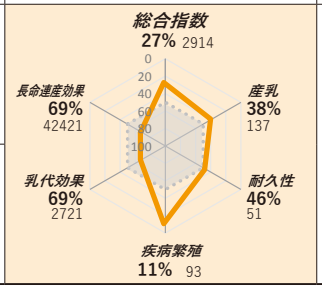
また、ダイレクト凍結卵のリストを当所のホームページへ掲載していますので、下記の二次元コードからアクセスしてご確認ください。

６月～９月の受精卵移植は、生乳暑熱対応推進緊急対策事業の夏季受精卵移植への奨励金交付対象となります（１頭２回まで、@10,000）。事業の詳細はおかやま酪農協へお問い合わせください。

表１　受精卵種別ごとの取り扱い

ダイレクト凍結卵	随時譲渡可能。 リストをHPに掲載中です。
クライオトップ卵	随時譲渡可能。（畜産研究所での融解が必要です） 取扱個数をHPに掲載中です。
新鮮卵	所内採卵※に合えば、配布可能。（※ダイレクト凍結卵作製のための採卵） 採卵日は本誌掲載日以外にも実施する場合があります。 ♀判別卵は、原則クライオトップ卵での対応としています。

◎採卵牛情報

【一般牛】ダイレクト凍結卵　16,500円	供卵牛の遺伝能力評価等	採卵予定日
♀：ＯＡＣ　キヤリー　ホームステッド　キアラ　チヤシテイ 登録番号：16643 7450 6 特徴：・輸入卵産子の孫 ・搾乳気質◎  ♂：ヴィコレットSS（9H18007） 特徴：・暑熱耐性に優れるスリック遺伝子（ホモ）保有！ （産子にも受け継がれます） ・小型体型で、乳頭配置◎		10／6 (火)

◎ダイレクト凍結卵案内（優良牛、性選別精液使用）

Ｒ８年８月末時点

採卵牛	総合指数	種雄牛	TPI (2026年8月)	NTP (2026年4月)	個数
ウルル 1390973202 	3267 (2026年2月)	エンパワー（♀）　629H20939	2997	－	6
		トウルーパー（♀）　614H15179	3343	3547	2
キヤスト 1354972036 	2928 (2026年2月)	デデイケート（♀）　551H3590	2990	2754	3
キルト 1354871971 	2915 (2026年2月)	レッチワース（♀）　550H16110	3155	2966	4
リア 1390973165 	2908 (2026年8月)	トウルーパー（♀）　614H15179	3343	3547	4

↓９月採卵牛↓

キース 1395174178 	2922 (2026年8月)	ヴイコレットＳＳ（♀）9H18007	3020	－	お問い合わせください。

産子のようす

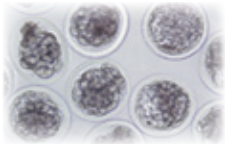
キルト×レッチワース（現在３ヶ月齢）



リア×トウルーパー（現在7.5ヶ月齢）



乳牛受精卵情報（畜産研究所HP）はこちら！


受精卵、産子情報等の詳細は、畜産研究所　繁殖衛生研究グループまでお問い合わせください。
☎0867-27-3349（飼養技術研究室）　☎0867-27-3627（受精卵処理室直通）

農林水産大臣賞受賞祝賀会

7月9日～10日、「第53回全国酪農青年女性酪農発表大会」がロワジールホテル那覇において開催されました。

西日本酪農青年女性会議の代表として蒜山地区の長恒泰裕氏が発表され、経営発表の部で見事に最優秀賞を受賞し、農林水産大臣賞を獲得されました。

そこで、長恒氏の受賞を地域の仲間で祝福するため8月5日、ひるぜんジャージーランドにて祝賀会を開催しました。当日は関係者をはじめ多くの組合員の方が出席し喜びを分かち合うとともに、これまでの歩みを振り返りました。会場には表彰状とカップが並べられ、皆さんへ披露されました。

まず始めに、おかやま酪農業協同組合檜尾組合長から祝辞が贈られ、長恒氏からは、関係者、地域の仲間に支えられて受賞できたことへの感謝の言葉が述べられ、今後は支える側になり、蒜山の酪農の持続的な発展とさらに蒜山の酪農を盛り上げていきたいと力強い決意が語られました。

懇談の場では、受賞を喜び合うとともに今後の地域酪農の発展について意見を交わし、参加者の親睦を深める有意義な会となりました。

最後になりましたが、今回の受賞に際しご尽力いただきました関係者の皆様に改めて感謝申し上げるとともに、長恒牧場の今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

（蒜山事務所）



長恒氏の挨拶

備新青年部交流会

7月29日、備新青年部は交流会として、倉敷市沙美海岸にて、海水浴を実施しました。

牧草の収穫等で忙しい時期でしたが、総勢22名の方が参加してくださいました。子どもたちは、気に入った浮き輪を持って海に入ったり、砂浜で砂遊びをしたり、それぞれ思い思いに夏の海を満喫していました。また、普段交流の難しい部員同士、子どもを見守りながら話に花を咲かせていました。

海水浴の最後にはスイカ割りも行われ、子どもたちが交代しながら一生懸命棒を振りましたが、今年のスイカは大変強かったため、中々割れず……。それでもみんなで声を掛け合いながら楽しい時間を過ごしました。

当日はあまり暑くなく、程よく陰っていたこともあり、過ごしやすい一日でした。ケガや熱中症もなく終わり、とても良い交流会となりました。

今後とも備新青年部の活動にご参加くださいますようよろしくお願いします。

（備新青年部）



海の家で食事を楽しんでいるようす



割れるまで挑戦

岡山県議会へ要請活動

8月17日、県酪農政治連盟は三宅委員長、松﨑副委員長、東山副委員長、永禮副委員長、事務局の計6名で岡山県議会を訪問し、太田議長、上田副議長、松島農林水産委員長、小林畜産振興議員連盟会長と面談し、要請活動を行いました。

三宅委員長が太田議長に要請書を手渡し、要請内容について説明しました。太田議長には飼料・資材価格が高止まりし、依然厳しい酪農情勢を理解していただけたと感じました。三宅委員長から今年度も引き続き特別交付金からの酪農予算確保と増額を強く要請しました。

県酪農政治連盟では、今後とも国、県等への要請活動を通じ、酪農窮状を訴え、酪農情勢の改善に取り組んでまいります。

（県酪政連事務局）



酪農現状説明



要請書手渡し

おおさかパルコープわくわく産地訪問

8月22日、生活協同組合おおさかパルコープ主催の「わくわく産地訪問」がオハヨー乳業㈱本社工場で開催され、お子さんを含む組合員34名が参加されました。

オハヨー乳業㈱では、令和8年3月よりパルコープのプライベートブランド牛乳「生協牛乳」の委託製造を開始しており、今回は生乳の生産、製造から消費までの三者をつなぐ取り組みの一環として開催されました。

「生協牛乳」は原材料となる生乳を限定した商品であり、牛に食べさせる飼料（濃厚飼料）に含まれるトウモロコシは遺伝子組み換えでないものに限られており、現在は岡山県の北東部に位置する奈義町、勝央町の計9戸の酪農家から生産された生乳のみを使用して製造されています。



わくわく調理体験のようす
（アイス・バター作り）

工場見学では製造ラインの見学、模擬牛を使用した搾乳体験、牛乳や酪農に関する説明が行われ、基本知識を問題にしたクイズでは正解者はもちろんのこと、不正解の方も楽しく知識をアップデートできたと思います。学習会では改めて牛乳の成分や特性などをオハヨー乳業の乳製品を試食しながら学び、牛乳の飲み比べでは3種類（低脂肪乳、成分無調整乳、成分調整（濃縮）乳）の味の違いに首を捻りながら回答し、製造方法へのこだわりに感心する場となりました。

夏休み中の週末であったこともあり、オハヨー乳業こだわりの学校給食向けの瓶牛乳の製造ラインは見学できませんでしたが、衛生的に管理された施設で製造されていく工程を見学した後の商品試食は皆さんおいしく感じられたのではないでしょうか。今回の「わくわく産地訪問」は、生産者・製造者・消費者が直接つながりを持てる貴重な場となりました。この機会に携われた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

（津山事務所）

備前地区女性部視察研修

8月25日、備前地区女性部で備南地区の「なんば牧場」さんへお邪魔させていただきました。

まず牛舎を見学させていただきましたが、シーサイドファームという名の通り牛舎から海が一望できました。牛舎に入って皆さん第一声に「涼し～！」という声が上がるほど海風が心地よく、当日も外気温が37℃ほどありましたが、それでも涼しく感じました。

難波さんから日々の作業や飼料についての説明があり、皆さん熱心にお話を聞いておられました。



瀬戸内海をバックに難波さんと

次に、ジェラート工房にお邪魔しました。アイスのフレーバーは地産地消のものが多く、夜搾った牛乳を翌日の朝加工した搾りたて、こだわりのジェラートをいただきました。これも「おいしい～！」と皆さんペロリと完食されました。

ご参加いただいた部員の皆様ありがとうございました。そしてお忙しい中視察を受け入れてくださった「なんば牧場」の皆さん、大変ありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

（備前地区女性部）



アイスおいしい～！

笑味ちゃん天気予報がやってきた！

（RSKテレビ　月～金　18時50分より）

8月31日放送の笑味ちゃん天気予報の担い手紹介コーナーで、谷口綺さん（おからく西大寺事務所勤務）が紹介されました。

谷口さんは入組4年目。高松農業高校を卒業後、中国四国酪農大学校へ進学、㈲長恒牧場へ就職して現場での経験を積んだのち、おからくへ転職しました。現在は農家を訪問し、これまでの経験や知識を活かしながら、農家と向き合い、乳質や乳量の安定のためのサポートを行っています。

この日、訪れていた㈲安富牧場（岡山市北区下足守）の安富由美子さんは「牛が好きだから、農家ともいろいろな話ができる。女性同士だからできる話もあります」と話されていました。



ご協力ありがとうございました！
（左から古米リポーター、谷口さん、安富さん）

谷口さんは6年前にも取材を受けていました。その頃から変わらない【自分の牧場を持つ】という目標に向け、現在の業務を通じて、さらに経験を重ねています。また、「次世代につながるような取り組みもしていきたい」とも話していました。

農家の方と同じ目線で牛のことを考えながら関係を築いていく姿勢から、『牛が好き』という気持ちが仕事の原動力になっているのかなと感じました。

最後になりましたが、お忙しい中、取材にご協力いただきました安富さん、ありがとうございました。

（生乳課）

番組では、曜日によりテーマを決めて放送しています。

・月曜日　担い手・JA職員紹介・高校生の紹介
・火曜日　農畜産物の紹介
・水曜日　火曜日に紹介した農畜産物を使った料理の紹介・栄養士による料理・栄養等の紹介
・木曜日　JA活動紹介・市町村の紹介
・金曜日　直売所・イベント紹介

搾乳等お忙しい時間帯の放送になりますが、ご都合のつくときはぜひ観てください。また、取材にもご協力くださいますようお願いいたします。

笑味ちゃん天気予報
YouTubeチャンネル

ひろば

味巡り

牛飼五十七年　石原　照夫

安くておいしいコーヒーを飲ませてくれる店が少なくなった。その中にあって、家から四十分ぐらいのところにそれはある。

西大寺浜インターからブルーラインを西に政津の交差点から北へ裏道を走る。長崎ちゃんめんからさらに北へ旭川土手道の前にそれはある。「アロマ」店に入ると喫煙席と奥に禁煙席があり、店は大きい。

コーヒー豆は個人輸入であらゆる豆も売っている。ケーキ、パンなど自分方で焼いていておいしい。いつもモーニングBとダークブラウンホットコーヒーを注文する。

少し濃いめ、香りの後を甘味が付いてくる。

モーニングは午後四時までというのもいい。

ピラフなんかの定食もある。

たばこが吸える店は今ほとんどなく、ここだけといってもいいくらい。お兄ちゃんからおばさんまで、たばこを吸う人の憩いの場だ。コーヒーとモーニングセットで八百五十円、ダークブラウンは百円増、コーヒー五百円、おかわり三百円。

前に西大寺でコーヒーとトーストで、千二百円とられた。これほど安い店はない。

週に二回ほど楽しみに通っている。

知っていますか。たばこ税、国の重要な収入源、たばこ吸う人、男二〇％・女一〇％、減り続けてひさし。今や肺ガンは男女共、うなぎ登りの人生航路。

第二弾、希望とあこがれを胸に、酪農青年の元に花嫁がやって来た。酪農百年今昔物語り。こんなのはいかがだろうか？



理事会報告

令和8年7月31日、第316回理事会を理事9名、監事3名が出席し、開催した。

檜尾組合長より酪農一般情勢等について報告された。

その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和8年度生乳需給安定化対策について

令和8年度6月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○酪農ヘルパー専任職員就業規則の変更について

ヘルパーの基本給・住宅手当について内容を検討し、手当の引上げを承認し、規程の一部変更について内容を確認し、承認した。

○臨時ヘルパー内規の変更について

臨時ヘルパーの兼務出役時の手当について内容を確認し、兼務出役手当の支払を承認し、内規の一部変更について内容を確認し、承認した。

○超音波画像診断装置の購入について

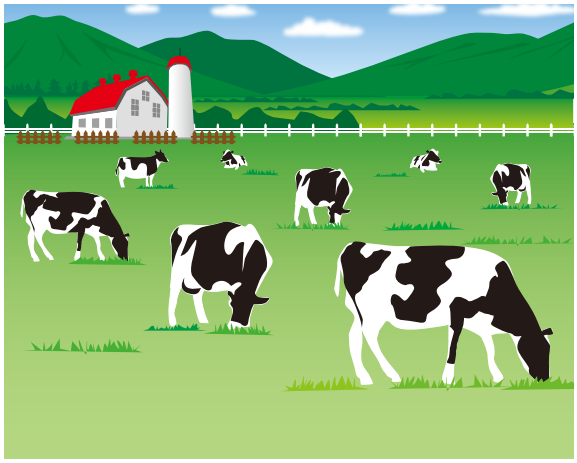
超音波画像診断装置の購入について内容を確認し、購入することを承認した。

○慶弔見舞金支給規程の変更について

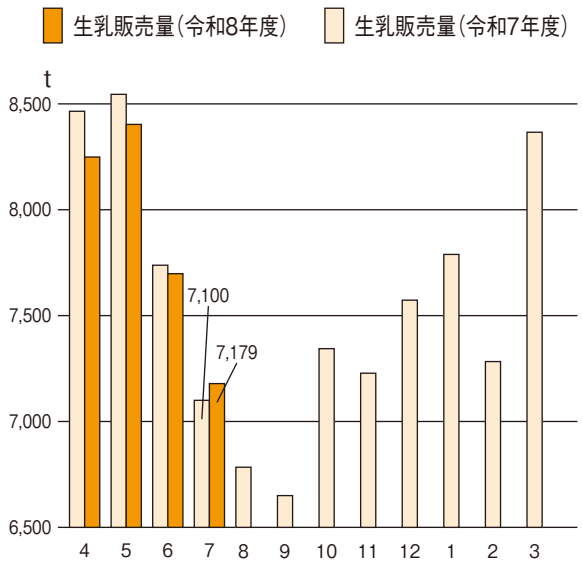
慶弔見舞金支給規程について同居の父母又は子女に対する慶弔見舞内容を確認し、変更することを承認し、規程の一部変更について内容を確認し、承認した。

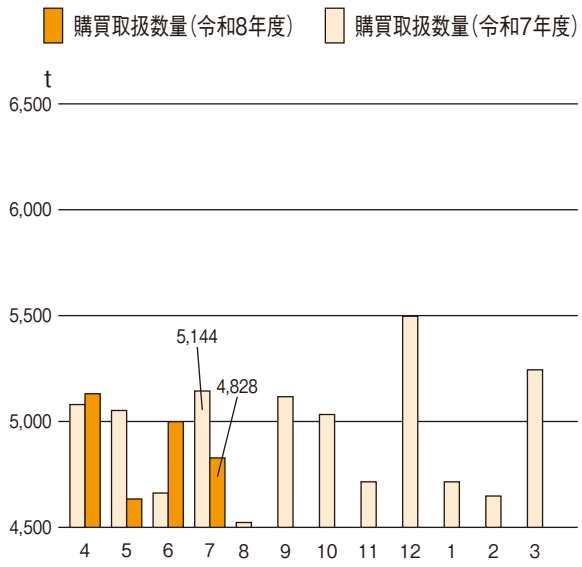
○報告事項

第1四半期苦情等の報告について、第1四半期の監査日程について、県畜産共進会に係る衛生対策について、組合員数の状況について報告した。



おからく事業実績





生　乳　統　計

※中央酪農会議速報より抜粋

地　域	月	受託乳量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	受託	飲用	乳製品	その他
全　国	7	567,467	274,603	144,755	148,109	99.7	94.5	106.5	103.8
	4～7	2,335,582	1,101,724	645,766	588,093	98.7	97.2	99.1	101.1
岡山県	7	7,179	6,931	163	85	101.1	100.2	143.0	126.9
	4～7	31,528	28,836	2,005	688	99.0	98.6	92.9	157.1
北海道	7	340,030	68,699	127,498	143,833	100.6	92.3	101.7	104.0

北海道初妊牛価格

8月については、秋分娩中心の取引となったなか、出回り頭数が増えたことから、初妊牛平均価格は60万7千円（前月比2万4千円安・前年比1万1千円高）とやや弱含みで推移しました。

9月については、暑さもやや落ち着き、暑熱期に導入を見合わせていた需要が見込まれるものの、出回り頭数も一定程度確保されていることから、初妊牛相場は現行水準並みで推移するものと予測されます。



主な行事

9月

18日　管理職会議

25日　牛乳・乳製品利用料理コンクール書類審査会

蒜山地区乳牛共進会

30日　理事会

10月

1日　現物監査

2日　牛乳大好き絵画コンクール審査会

17日　牛乳・乳製品利用料理コンクール岡山県大会

20日　管理職会議

23日　岡山県畜産共進会（～24日）

30日　理事会